

## 通信制の課程の高等学校で学んでいる生徒数 2 ～令和 7 年度学校基本調査（速報値）の概要から～

令和 7（2025）年 8 月 27 日に文部科学省は「令和 7 年度学校基本調査（速報値）」を公表しました。

「学校基本調査」は、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした、全国の学校に関する基本的事項（学校数、在学者数、教職員数、卒業後の進路状況等）を調査する重要な統計調査で、毎年 5 月 1 日を調査の期日としています。

その年の確定値が調査報告書として公表されるのは実施年の 12 月ごろですが、今回はその「速報値」が公表されました。

全国の全日制・定時制の課程の高等学校で学ぶ生徒数は、国公立合わせて 2,873,628 人で、前年度の 2,906,921 人から 33,293 人減少しています。

その一方で、通信制の課程の高等学校で学ぶ生徒数は、305,221 人で、前年度の 290,087 人から 15,134 人増加し、過去最多となりました。通信制の課程の高等学校で学ぶ生徒の割合は 9.6%で、前年度の 9.1%から 0.5 ポイント増加しました。

それでは、広島県の状況はどうでしょうか？

広島県においては、全日制・定時制の課程の高等学校で学ぶ生徒数は、国公立合わせて 66,074 人で、前年度の 66,610 人から 536 人減少しています。

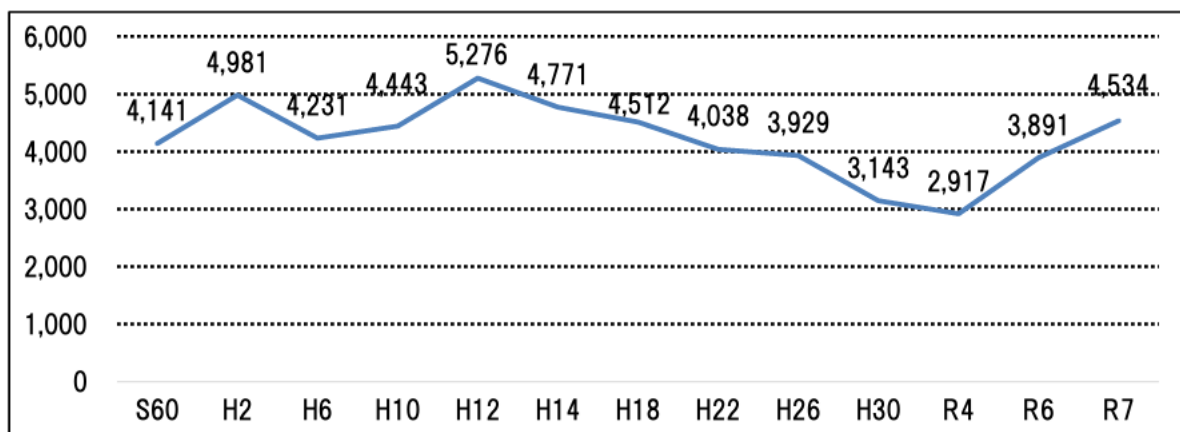
その一方で、通信制の課程の高等学校で学ぶ生徒数は、4,534 人で、前年度の 3,891 人から 643 人増加し、通信制の課程の高等学校で学ぶ生徒の割合は 6.4%、前年度の 5.5%から 0.9 ポイントも増加しました。

広島県内の通信制の課程の高等学校は令和 6（2024）年度は 10 校（公立 2 校、私立 8 校）でしたが、令和 7（2025）年度には私立が 1 校増えて 11 校（公立 2 校、私立 9 校）になりました。

自分に合った学び方が選択できる通信制の課程の高等学校で学ぶ生徒は今後も着実に増加していくと思われます。

なお、通信制の課程の高等学校で学ぶ生徒については、「通信制の課程の高等学校で学んでいる生徒数（令和 6 年度）」（追加情報 7）でも説明しているので、参考にしてください。

広島県の通信制の課程の高等学校の生徒数の推移（昭和 60 年度～令和 7 年度）



（出典）広島県環境県民局「広島県の私立学校 令和 6 年度」及び広島県統計課「令和 7 年度学校基本調査の結果速報（広島県分）」をもとに作成